

## 第4回 岡山県地域公共交通ビジョン策定市町村会議

### <委員意見要旨>

#### ○ 岡山県地域公共交通ビジョン素案についての委員意見要旨

##### [全体に関わるもの]

- ・ ビジョンの達成度合いを、県民、関係者で共有することができる指標を示す必要がある。
- ・ 供給サイドの現状や見通しも踏まえて、行政の関わり方、役割、責務等を整理する必要がある。

##### [広域交通の確保に関わるもの]

- ・ JR在来線について、隣県とも連携してネットワークを維持するといった方向性が示されていない。
- ・ 今後も市町村を跨ぐ広域バス路線については、県で維持確保に努めてほしい。
- ・ 広域を含むバス路線について、県がハブとなり、リスクへの備えに対する取組を示すべきである。
- ・ 岡山県離島振興計画の「交通体系の整備」に「離島航路の維持・確保は、単に住民の生活交通としての移動手段の確保に留まらず、産業、観光、医療など様々な振興に寄与するものであり、離島振興の根幹となるものであるから、その維持・確保に取り組む」との記載があるため、ビジョンに整合が取れる記載をお願いしたい。
- ・ 広域交通について、県の役割が「支援」にとどまり、司令塔的役割が十分に明示されていない。
- ・ 市町村の役割に「駅舎等の環境整備」との記載があるが、「駅舎等の周辺環境整備」に修正することを提案する。また、交通事業者の役割に「駅舎等の環境整備」を明記することを提案する。

##### [二次交通の確保に関わるもの]

- ・ コミュニティバスやデマンド交通について、国や県の支援は実証運行や導入経費（イニシャルコスト）に偏りがちであるが、運行経費（ランニングコスト）への支援について明記してほしい。

#### [交通分野の人材確保に関わるもの]

- ・ 運転者不足については、運転者確保に対する支援、ボランティア輸送、ライドシェア、福祉・教育・企業との連携策など、引き続き県の主体的な取組をお願いしたい。
- ・ 運転者確保については、短期的な対処と長期的な構造改革を区分して記載したほうがよい。

#### [デジタル技術の活用に関わるもの]

- ・ 自動運転について、先端技術の導入に向けては、県で社会課題と位置付けて取り組み、県内各所へ展開していくことが適切と考える。
- ・ MaaSについて、決済環境を共通化するために、県で主体的な支援を行うようビジョンに位置付けてほしい。
- ・ 県が主体となり、全県で利用可能な共通の予約・決済システムやデータ基盤を構築し、市町村や事業者がそれに参加するかたちでの導入を推進するスキームを検討してほしい。

#### [自家用車から地域公共交通への転換に関わるもの]

- ・ 高齢者の運転免許証返納後の移動手段の確保は中山間地域等と県南都市部の地域分けをする必要があるのか疑問に思う。
- ・ 自家用車から地域公共交通への転換は、「自家用車に乗っている人も、目的地などによっては、地域公共交通を利用してみませんか」という方向でいろいろな施策を考えたほうがよいと思う。

#### [地域公共交通の利用促進に関わるもの]

- ・ 利用促進策について、イベント的な取組だけでなく、通勤、通学等の「リピーターを1人」でも増やす実効的施策が求められるため、通勤時間帯のダイヤ確保への働きかけや財政支援等、日常利用を支える仕組みの記載をしてほしい。